

八丈島のスクーバダイビングを再生可能エネルギーで変える

《 概念図 》

- ①八丈島内の太陽光発電、風力発電で電力を作りダイビング用シリンダーへエアを充填する際に消費する26Kwの電力をまかないます。余った電力は蓄電システム(エネアイループ)に貯めておきます。
- ②作られた再生可能エネルギーを利用しダイビング用シリンダーへエアを充填。八丈島内に点在するダイビングポイントに潜り、エアを使用します。
- ③上記①、②は常に相関的にループし、環境を保護しながら持続可能な産業を可能とします。



再生可能エネルギー



太陽光発電

風力発電



電力の行先
①コンプレッサー
シリンダーエア充填用

発電された電力は三方向に分かれて
①コンプレッサーへ
②蓄電池へ運ばれます

満タンに
充填された
シリンダー

充填

利用

エンリッチド
エア

\\いざポイントへ!!

帰路

使い終わり
エア残量の
少なくなった
シリンダー

エンリッチドエア ナイトロックスとは

通常の空気よりも酸素濃度が高い呼吸用ガスで、スクーバダイビングでは減圧症のリスクを抑えることができ、疲労感が少ないといったメリットなどがあります。

